

平成 26 年度茨城県中小企業 IT 活用に関する実態調査結果 (概要)

◆調査時点：平成 27 年 1 月 5 日

◆調査方法：郵送によるアンケート調査

◆調査対象：県内中小企業 3, 0 0 0 社

◆回答状況：5 0 4 社 (回答率 1 6 . 8 %)

1 インターネット・ホームページの管理について

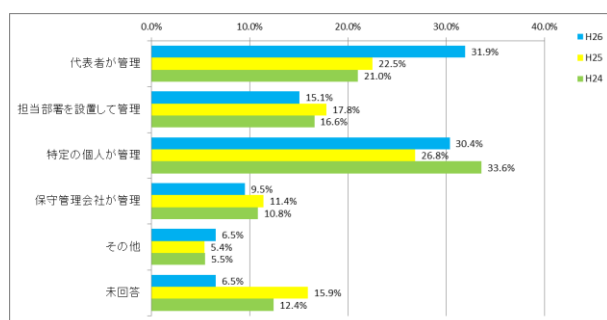
自社ホームページの有無について、「ある (58.1%)」、「ない (40.9%)」となった。

ネット環境の管理については、「代表者が管理 (31.9%)」が最も多く、次いで「特定の個人が管理 (30.4%)」、「担当部署を設置して管理 (15.1%)」となった。

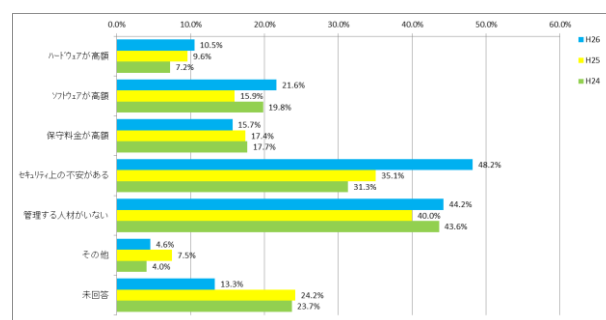
課題は、「セキュリティ上の不安がある (48.2%)」が最も多く、次いで「管理する人材がいない(少ない) (44.2%)」となった。

セキュリティ上の不安材料については、「ウイルス感染 (84.8%)」が最も多い結果となった。

年間コストについては、「0~100 万円 (80.6%)」と回答した企業が最も多い結果となった。



(ネット環境の管理)

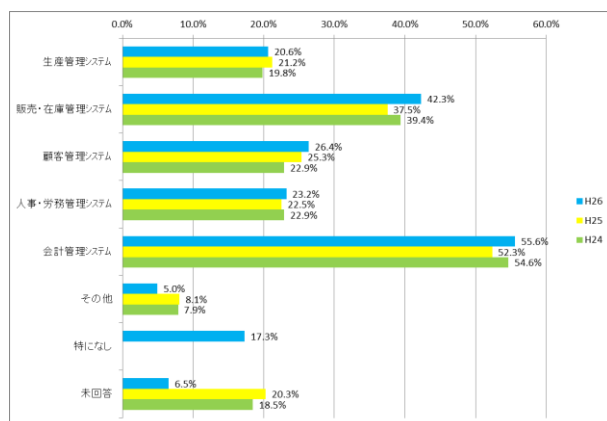


(管理における課題)

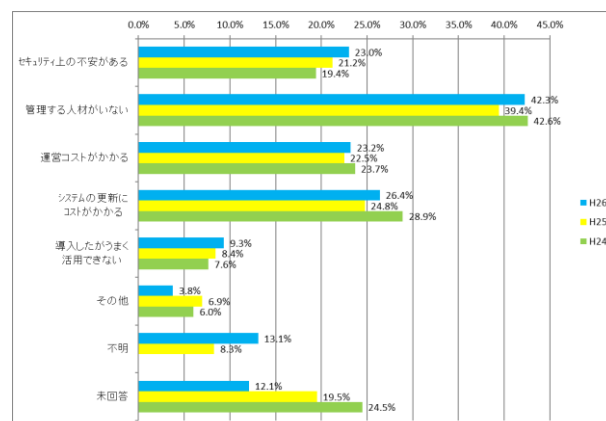
2 ITを活用した経営効率化

利用しているシステムについては、「会計管理システム (55.6%)」が最も多く、次いで「販売・在庫管理システム (42.3%)」であった。また、今後導入を検討しているシステムについては、「特になし (50.0%)」が最も多い結果となった。

課題については、「管理する人材がいない (42.3%)」、「システムの更新にコストがかかる (26.4%)」、「運営コストがかかる (23.2%)」が多い結果となった。



(利用しているシステム)



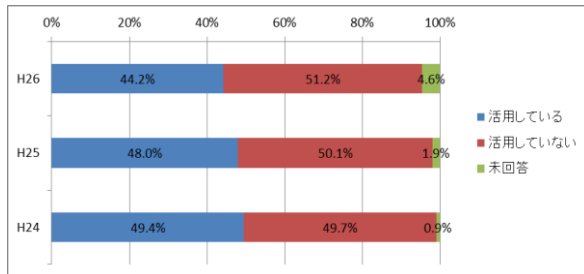
(IT活用の課題)

3 受発注業務におけるインターネットの活用状況

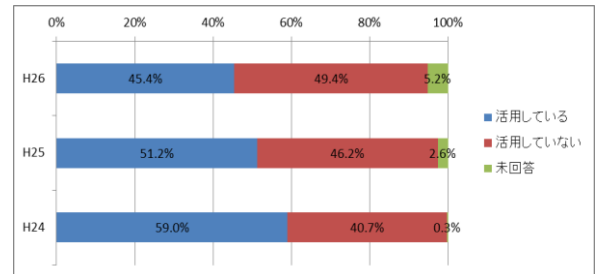
受発注業務のインターネット活用については、「活用している（発注業務 44.2%，受注業務 45.4%）」となり、利用媒体としては、発注業務・受注業務とも「電子メール（発注 63.2%，受注 59.0%）」が最も多く、次いで「取引先のシステム（発注 46.6%，受注 51.5%）」であった。

年間発注額又は受注額に占めるインターネットを利用した取引額の割合は、「5%未満（発注 30.5%，受注 31.4%）」、「30%以上（発注 23.3%，受注 27.9%）」とする企業が多い結果となった。

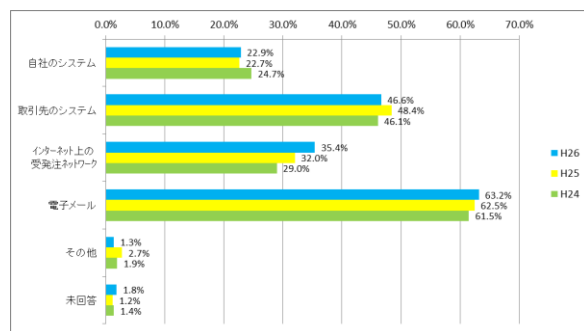
課題については、「セキュリティ上の不安がある（発注 34.1%，受注 32.3%）」、「管理する人材がいない（少ない）（発注 35.4%，受注 29.7%）」が多い結果となった。



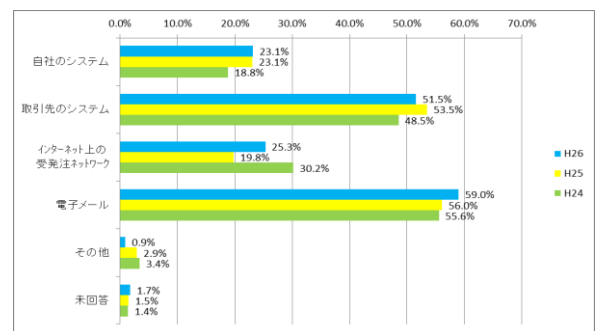
（活用状況：発注）



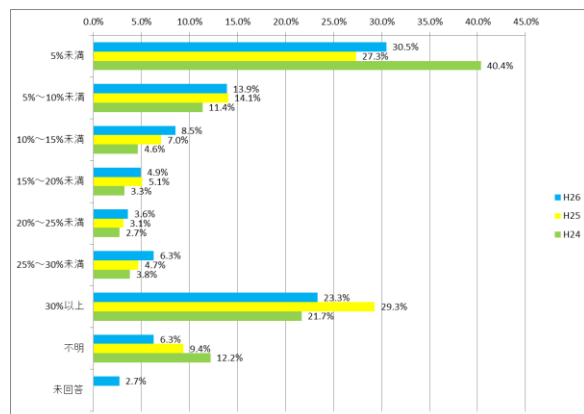
（活用状況：受注）



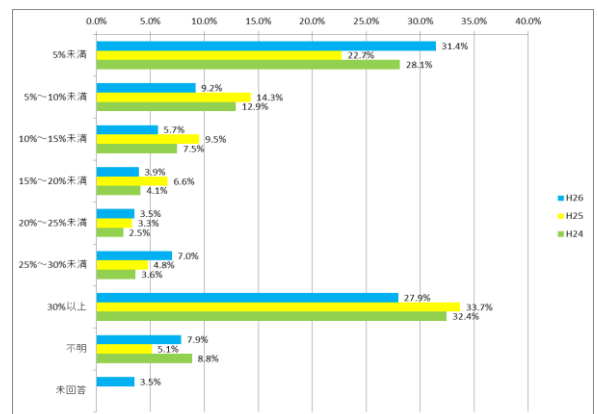
（利用媒体：発注）



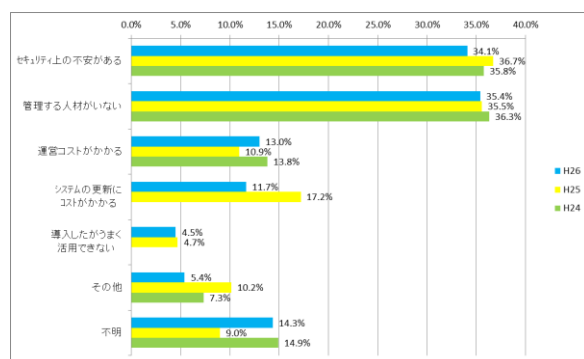
（利用媒体：受注）



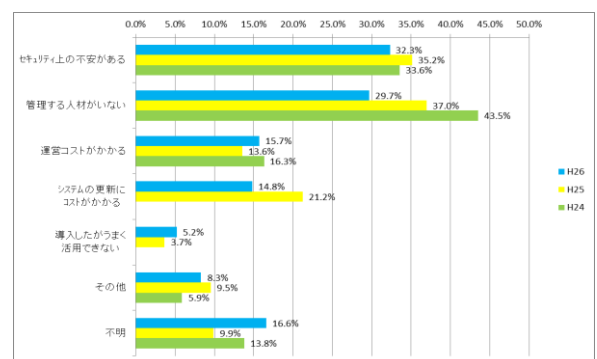
（仕入割合：発注）



（販売割合：受注）



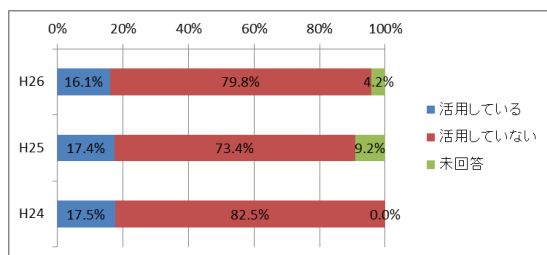
（発注業務における課題）



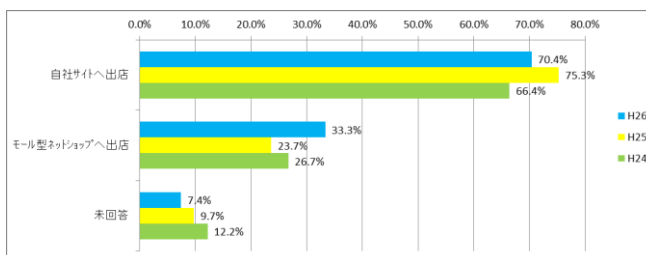
（受注業務における課題）

4 ネット販売について

ネット販売を「活用している（16.1%）」企業のうち、「自社サイトへ出店（70.4%）」が多い結果となった。年間売上高に占めるインターネットを利用した売上の割合は、「5%未満（67.9%）」が多い結果となった。課題については、「売上に結びつかない（48.1%）」、「管理する人材がいない（38.3%）」、「セキュリティ上の不安がある（22.2%）」が多い結果となった。



（ネット販売の活用状況）

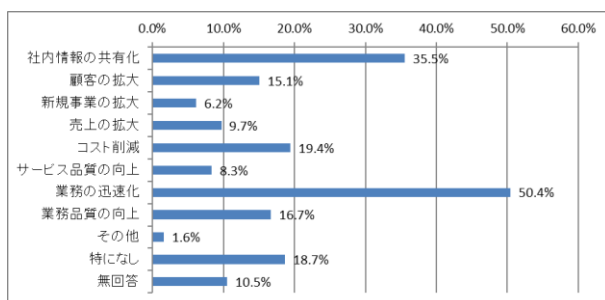


（ネット販売の形態）

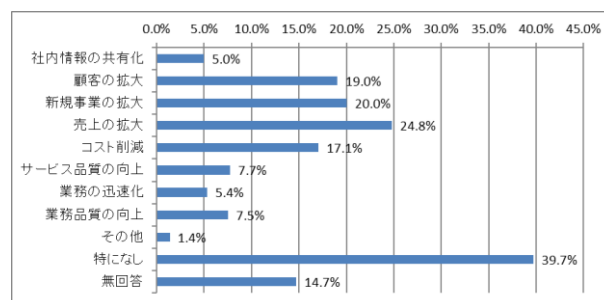
5 I T導入の効果について

I T導入で効果の感じられたことは、「業務の迅速化（50.4%）」、「社内情報の共有化（35.5%）」が多い結果となった。

I T導入で効果の感じられなかったことは、「特になし（39.7%）」、「売上の拡大（24.8%）」が多い結果となった。



（I T導入で効果の感じられたこと）

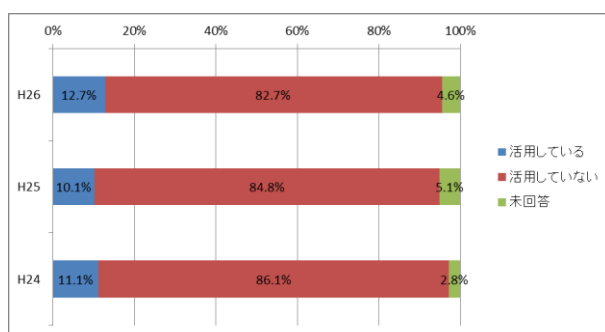


（I T導入で効果の感じられなかったこと）

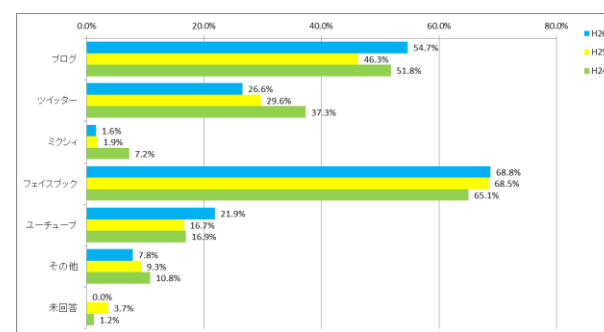
6 I T化の新たな動きについて

SNSの活用については、「活用している（12.7%）」であり、そのうち活用媒体は「フェイスブック（68.8%）」、「ブログ（54.7%）」、「ツイッター（26.6%）」となった。

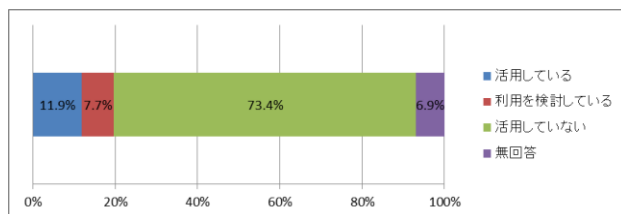
クラウドサービスの活用については、「活用している（11.9%）」、「活用していない（73.4%）」となり、活用していない理由については「検討したことがない（47.8%）」が多い結果となった。



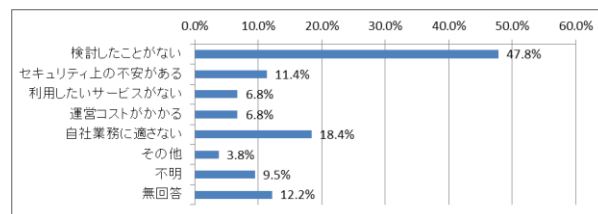
（S N Sの活用状況）



（S N Sの活用媒体）



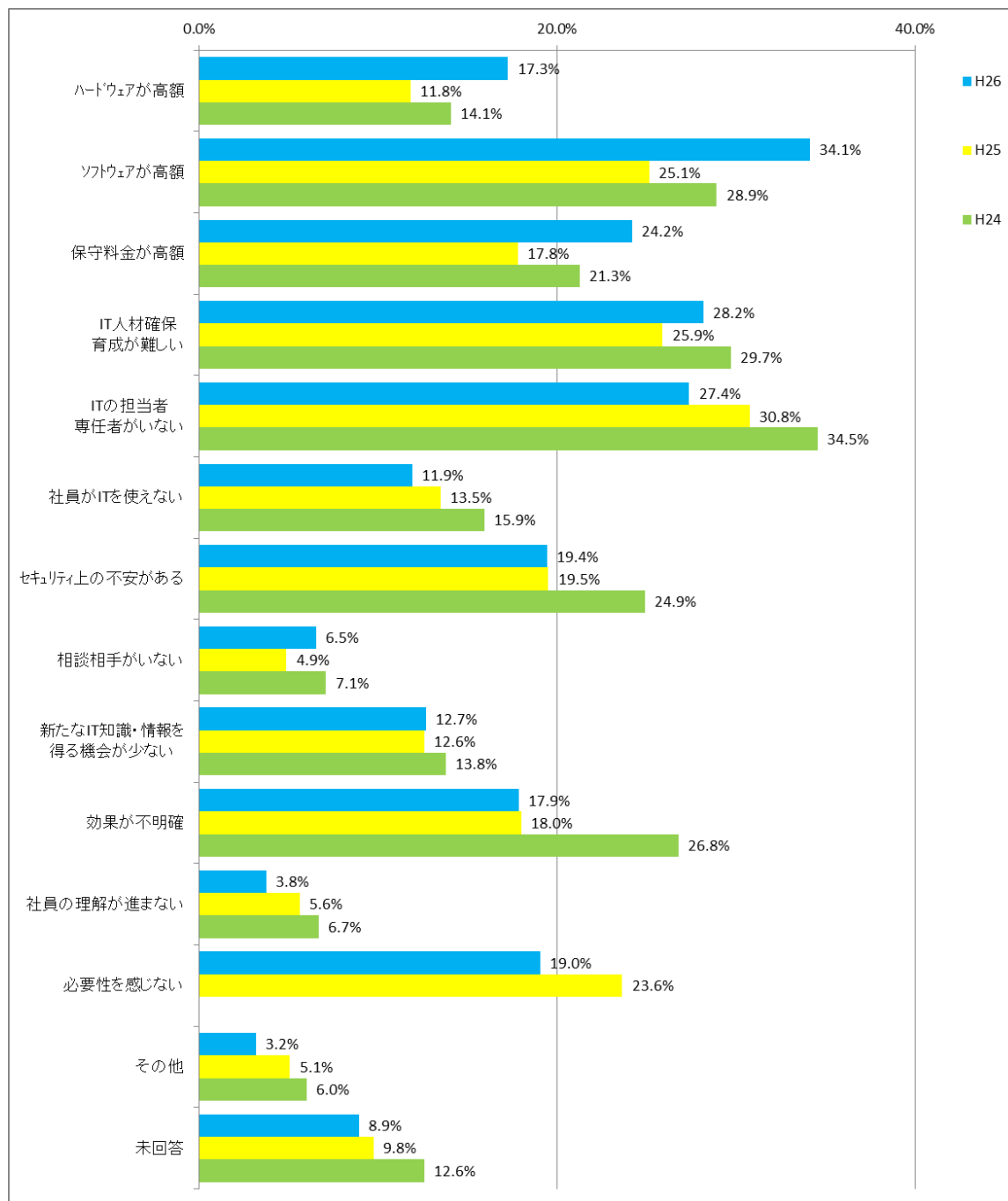
(クラウドサービスの活用状況)



(クラウドサービスを活用していない理由)

7 ITの運用・利活用上の課題

ITの運用・利活用上の課題については、「ソフトウェアが高額 (34.1%)」、「IT人材確保・育成が難しい (28.2%)」、「ITの担当者・専任者がいない (27.4%)」のようになった。



(ITの運用・利活用上の課題)